宮古新聞

編集 川口凌大
発行 4月吉日

有名なパンプキン鍾乳洞。その奥は…

宮古島にいけると知ったとき、ぼくは、お母さんに教えてもらったパンプキンしょうにゅう洞が、楽しみでした。この、シーカヤックのイベントには、楽しいことや、きれいなものがたくさんありました。シーカヤックにのり、しょうにゅう洞のある洞穴まで行く時、ぼくたちはみんなでかけ声をかけて、オールのうごきをみんなで合わせてこぎました。そうやってカを合わせてこがないと、カヤックがなかなか前進しないからです。ぼくは一番年上だったので、進んでかけ声をかけました。こいで休んでを、くりかえし、やっと洞穴の前まで来ました。目の前には、深さ約4mの大きな穴がありました。ライフジャケットはきていましたが、足が地面につかなくなった時は、ちょっとこわかったです。この洞穴には、昔から神様がすんでいると言い伝えられているので、みんなで手を合わせてから入りました。ぼくは、パンプキンしょうにゅう洞は、けっこう奥の方にあると思っていましたが、入口からすぐの所にありました。その横のはしごをのぼると、そう像をしていなかった光景が広がっていました。奥行きのあるそう大なしょうにゅう洞が、まるで棚田のように広がっていました。

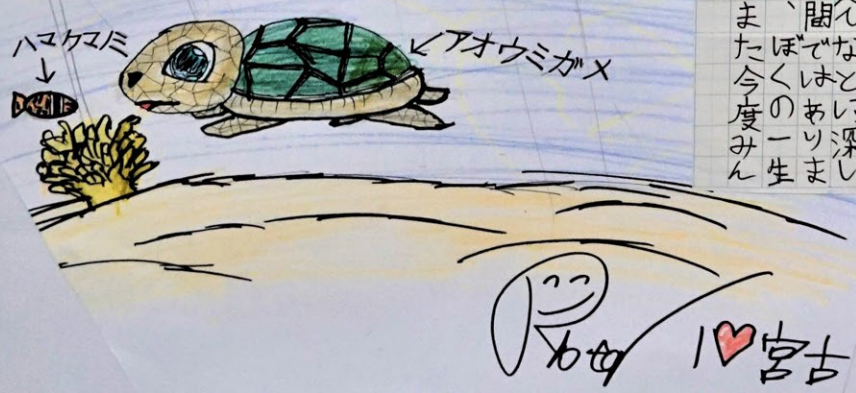
仲間と力を合わせたテント作り

テントは、三日間生活するま点なので、じょうぶに作りました。二人や三人で協力しないとテントができないので、仲間と協力することの大切さを、改めて実感しました。みんなで心を一つにして一生けん命作ったテント…どこもくずれたり、こわれたりしないで、最終日までもちました。

さびしいけど、テントをかたづけました。ぼくの組のりょうまが帰ったので、二人になったリーダーの人もてつだってくれました。テントのくいをどうしてもぬけないのおうちゃんにいっしょに手伝ってもらいました。そうしたらそのくいはぬけました。その調子で四すみのくいをぬき、一人じゃ人で先さきやるよりも、仲間と一個一個ていねいにやったほうが、はやくおわるんだと思いました。そのまま二人で作業を続け、テントは無事片付きました。テントを楽しんで作り、テントで楽しく遊び、テントを楽しく片付けられたので、すごくいい思い出になりました。

さいごに

このキャンプでぼくは、仲間と協力することの大切さと、自然のすばらしさ、そして、この自然をずっと守っていかないといけない…と強く感じました。ーフーフのイベントや遊びなどに楽しい思い出があります。三日間ではありましたが、このキャンプは、ぼくの一生の思い出になりました。また今度みんなと会いたいです。



宮古島の海がきれいな理由って?

きれいなのは、しょうにゅうどうだけではありません。青くてとう明な海が見えたしゅん間、ぼくはカメラの シャッターを何十回も押しました。宮古島の海は、東洋一美しい海と言われています。その理由を聞いて、なっ得しました。

一つ目は、川がないこと。宮古島には高い山がないので、川ができません。川がなければ、雨がふってもにごりが流れこむことがありません。

二つ目は、サンゴのおかげです。サンゴが光合成をして、海の中の二酸化炭素をきゅうしゅう、酸素とミネラルをだし、海がきれいになります。ずっとこのきれいな海がつづいてくれたらいいなあと思います。